

# 放血

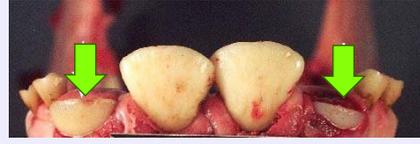


歯列の確認  
(30か月齢以上か判定)

※永久歯の第2切歯（3本目の切歯）が確認できれば、30か月齢以上と判断する。

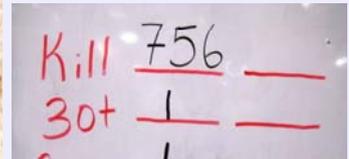


30か月齢未満



30か月齢以上（矢印は永久歯の第2切歯）

# 剥皮



30か月齢以上のとたいには「30」等の判別スタンプを押印

# 頭部除去

# 頭部検査

# 舌

# ほほ肉



扁桃除去

# 内臓摘出

# 内臓検査

# 肝臓

# 心臓

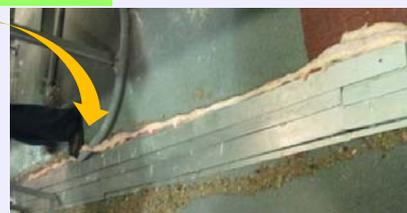
# 胃

# 小腸

# 大腸

回腸遠位部除去

30か月齢以上は  
マーキング



## 背割り



- 背割り鋸は温湯で洗浄
- 30か月齢以上の処理には専用の色分けした器具を使用



ナイフ

## せき髄除去



バキューム



## 枝肉検査

- せき髄が十分除去されているか確認

27

## 枝肉識別



- タグによる枝肉の識別管理

## 洗浄

30か月齢以上のせき柱を染色

## 冷却・保管



30か月齢以上の枝肉は専用レーンに保管

28

グレードチェンジの手法を利用した月齢による区分管理  
 ~30か月齢以上の枝肉はその日のシフトの一番最後に処理~

部分肉処理



せき柱の除去



せき柱とそれ以外を仕分け  
 →ベルトコンベアーで搬出

包装・表示

ラベルの保管(鍵付き)



ラベル保管庫の扉



保管庫の中

責任者がラベルと中身が合致しているか確認してから梱包



輸出向け、月齢区分等により製品コードを分類している

保管・出荷



## ■ 各国のBSE検査体制の比較

	日本  改正案	米国 	カナダ 	フランス 	オランダ 	OIE基準 
食肉検査	30か月齢超	-	-	72ヶ月齢超 (注3)		- (注4)
発生状況調査 (注1) (高リスク牛 (注2))	24か月齢以上の死亡牛等	30か月齢以上の高リスク牛の一部	30か月齢超の高リスク牛の一部	48か月齢超の高リスク牛		30か月齢以上の高リスク牛の一部

(注1) BSEの発生状況やその推移などを継続的に調査・監視すること

(注2) 中枢神経症状牛、死亡牛、歩行困難牛などのこと

(注3) 欧州委員会は、本年2月下旬～3月上旬以降、加盟国（ブルガリア及びルーマニアを除く）の判断により健康牛のBSE検査を廃止することが可能としている。

(注4) OIE基準では、BSEスクリーニング検査の実施を求めている。



## ■ 各国の国内における特定危険部位(SRM)の範囲の比較

	日本  改正案	米国 	カナダ 	フランス 	オランダ 	OIE基準  (管理されたリスク国)
頭部	30か月齢超の頭部 舌・頬肉を除く	30か月齢超の頭蓋 (注)	30か月齢超の頭蓋	12か月齢超の頭蓋		30か月齢超の頭蓋
扁桃	全月齢	全月齢	30か月齢超	全月齢		全月齢
せき髄	30か月齢超	30か月齢超	30か月齢超	12か月齢超		30か月齢超
せき柱 背根神経節を含む	30か月齢超	30か月齢超	30か月齢超	30か月齢超		30か月齢超
腸	全月齢の回腸遠位部	全月齢の回腸遠位部	全月齢の回腸遠位部	全月齢の腸		全月齢の回腸遠位部

(注) 頭部の骨格、脳、眼などを含む部位のこと

